地域保健福祉推進協議会



第1回健康あだち21専門部会報告資料 資料 11

平成26年6月23日

件名	糖尿病対策アクションプラン
	保育園での取り組みについて
所管部課	子ども・子育て施設課、子ども・子育て支援課
	1 「野菜の日」の実施
	野菜への興味を深め、野菜を食べる機会を増やすことを目的として、
	平成25年10月より、区立園の給食で野菜使用量の多い日や、野菜を
	食べやすく工夫した日を「野菜の日」として設定した。園児への声かけ
	や、保護者へのレシピや啓発メモの配布等で野菜摂取を呼びかけた。
	26年度も引き続き実施し、園児の野菜に対する関心を高めていく。
	2 野菜に親しむ体験
	野菜の展示や皮むき、栽培、農家での収穫体験等、園児が野菜に触れ、
	親しみが持てるような様々な取り組みを実施した。
	園児が野菜に親しみを持つことにより、野菜摂取につなげられるよう、
	26年度も各園で随時実施していく。
	2 促进者内经合体联
内容	3 保護者の給食体験
	給食をきっかけとして保護者の野菜への関心を高め、家庭での野菜摂 取につなげられるよう、25年8月より区立園で保護者の給食体験を実
	取にうなりられるよう、25年6月より区立園で保護者の結長体験を美施した。25年度は341名の参加があった。
	26年度も引き続き事業を実施し、特に6月の食育月間には父親の参
	20年後8月2歳2事業を実施し、特に0月の食育方間には又就の多加を促し、野菜摂取の啓発を行っていく。
	4 一口目は野菜から
	「一口目は野菜から」の声かけを行うことにより、野菜摂取の意識付
	け及び習慣化を図ることを目的として、25年9月から、幼児を中心に
	声かけを実施したところ、子どもたちが自発的に野菜料理に手を伸ばす
	様子が多く見られるようになった。
	26年度も引き続き声かけを行うことで、野菜への抵抗感をなくし、
	野菜摂取の習慣化及び野菜摂取量の増加を目指す。